

基本課題2 あらゆる暴力の根絶(課題4～6)

課題4 セクシャル・ハラスメント防止対策の推進

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課 評価	市民窓口課所見	H21年度の審議会における意見・評価	
7	市民に対するセクシャル・ハラスメント防止に向けた啓発	広報・啓発活動	学校教育課	学校訪問等を通してセクシャル・ハラスメント防止に向けた指導を行う。また、各学校では、保護者や地域の方に教育活動を広報する学校だより等で、男女平等の視点に留意しながら内容を記述する工夫を行っている。 【目標値】 33ヵ校全ての小中学校で指導を行う。	学校訪問等の折りに指導主事がセクシャル・ハラスメント防止に向けた指導を行った。また、各学校では、保護者や地域の方に教育活動を広報する学校だより等で、男女平等の視点に留意しながら内容を記述しているが、市民への啓発になっているかは疑問である。 【目標値結果】 33校 【評価理由】 教職員に対してはAであるが、市民に対しては評価できない	学校教育課が市民に対する啓発活動を行うのは難しいと考える。	B	学校教育課は、学校でのセクシャル・ハラスメントの防止啓発に努めてください。市民に向けての防止啓発は市民窓口課で行います。		B
		広報・啓発活動	市民窓口課	広報紙やFM放送で、周知するとともに、講座等で「市民行動パンフレット」を配布し啓発をはかる。	・1月14日のFM放送で啓発した。 ・各講座及フォーラムで「市民行動パンフレット」を配布し啓発を図った。 【評価理由】 計画どおり行った。		A			A

8	事業所に対するセクシャル・ハラスメント防止に向けた啓発	広報・啓発活動	商工課	<p>ホームページから新潟労働局の雇用機会均等・両立支援・パートにリンクし、情報提供を行う。</p> <p>企業・事業所の訪問時や文書等を送付する際に、男女共同参画を推進する資料を配布する。</p>	<p>①きょうさいだより(9/30号)に職場のセクハラ相談窓口に関する記事を掲載し、勤労者福祉共済加入事業所会員(395事業所2,904名)へ配布し周知を図った。</p> <p>②人間関係に着目しパワハラをテーマとした県主催「労働セミナー」の開催について広報さんじょう(2/1号)へ掲載、リーフレットを各庁舎・出先機関へ設置する等、積極的に周知を行った。</p> <p>③財21世紀職業財団新潟事務所主催のセクハラ、パワハラ防止対策セミナー等について、ホームページからリンクして情報提供を図った。</p> <p>【評価理由】 計画どおり行った</p>		A			A
---	-----------------------------	---------	-----	---	--	--	---	--	--	---

課題5 ドメスティック・バイオレンスの防止に向けた意識啓発及び保護体制の整備

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課 評価	市民窓口課所見	H21年度の審議会における意見・評価	
9	ドメスティック・バイオレンスの防止に向けた啓発	ドメスティックバイオレンスの防止	子育て支援課	ドメスティックバイオレンスの発生を未然に防止するため市民への意識啓発を図る。早期相談対応手段を提供する。 ・ 広報掲載(相談日程16日号に毎回掲載) ・ FM放送「健康・子育てインフォメーション」にて放送 ・ 相談カード(県より配布)常時設置 【工夫すること】 広報・FM放送等を活用し周知する 【目標値】 相談件数の増加	・相談日:広報さんじょうで毎月16日号を活用し相談日程を周知。 ・燕三条FM「健康・子育てインフォメーション」に12月1日放送 ・相談カードは、今まで3庁舎の女子トイレに設置していたが、H21年度から「DV相談ナビ」カードを、日本高速道路(株)新潟支社長岡管理事務所の協力を得て、栄パーキングエリア上・下線女性トイレに設置できた。 【目標値結果】 女性相談件数301件(H20年度207件) うち、DVに関するもの21件(H21年度20件) 【評価理由】 達成できた	相談カードは多くの人に周知するため高速道路パーキングに引き続き設置を依頼する。	A		女性相談のカードを中学校・高等学校にも置いたらどうか。また、トイレにカードを置くことがためられるなら、デートDVに関する分かりやすいポスターを学校に掲示して欲しい。(できれば全部の中学校と高等学校に。) 「タバコはダメ!!」と同様「デートDVは犯罪です!!」などのポスターを学校に掲示して、相談機関につながる情報を載せて欲しいです。	A
		広報・啓発活動	市民窓口課	広報紙やFM放送で、周知するとともに、講座等で「市民行動パンフレット」や「相談カード」などを配布し相談窓口の周知や啓発をはかる。	・広報さんじょう4月1日号のコラムに掲載した。 ・1月14日放送のFMで啓発した。 ・各講座やフォーラムで「市民行動パンフレット」を配布し啓発を図った。 【評価理由】 計画どおり行った。		A			A

課題6 相談体制の充実

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課 評価	市民窓口課所見	H21年度の審議会における意見・評価	
10	女性相談の充実	女性相談事業	子育て支援課	<p>女性相談を広く周知するため、関係機関と連携をとりながら、相談体制の向上と充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報掲載(相談日程16日号に毎回掲載) ・FM放送「健康・子育てインフォメーション」にて放送 ・相談カード(県より配布)常時設置 ・研修会等に積極的に参加し、他市町村等と情報交換をする中で相談対応者のスキルアップを図る。 <p>【工夫すること】 市民への周知を常時行う。</p> <p>【目標値】 相談件数の増加</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広報やFM放送など計画どおり実施できた。 ・相談カードは、栄パーキングに設置し、より多くの人に周知することが期待できる。 ・研修会等、積極的に参加し、情報交換できた。 <p>【目標値結果】 相談件数:年度比においてH20/207件、H21/301件である。</p> <p>【評価理由】 計画どおり実施できた。機会を得て、多くの研修会に参加できスキルアップを図るとともに他市町村の職員と情報交換が行えた。</p>	<p>相談内容の複雑化傾向もあり、知識・情報を得るとともに、解決のために、各専門機関との連携を図ることが大切である。</p>	A			A
11	市民相談の充実	市民相談の充実	市民窓口課	<p>迅速・適切な対応ができるよう、市民相談をはじめ各種相談窓口及び相談体制の総合的な見直しを検討する。</p>	<p>相談体制の見直しを検討した結果、平成22年度に消費生活相談も兼ね備え、あらゆる相談に対応する「市民なんでも相談室」を設置することになった。</p> <p>【評価理由】 計画どおり検討し、平成22年度に専門の相談窓口を設置することになった。</p>		A			A

12	相談員間の連携の強化	情報交換を通じた連携強化	市民窓口課	各種相談担当者の打合せ会議や研修会等へ積極的に参加した中で情報交換を行い、連携強化を図る。	<p>「市民なんでも相談室」設置の検討会議中で、各課相談窓口の現状や課題など情報交換を行い、情報の共有を図った。</p> <p>検討会議開催回数:5回 多重債務相談研修に参加した。(参加回数:1回)</p> <p>【評価理由】 計画どおり行った。</p>	相談室がイニシアチブをとり関係各課や関係機関との連携・調整のための、情報交換会を開催し情報の共有等を図ることにした。	A			A
----	------------	--------------	-------	---	--	--	---	--	--	---